

全校集会 学校長の話（2025年10月15日）

- 認証式を終えました。今回当選した皆さん、これから的一年、どうぞよろしくお願ひします。そして、今回で生徒会役員を引退する三年生の皆さん、本当にお疲れさまでした。

- 生徒会役員という仕事は、表に立つ華やかさの陰で、実は細かな仕事の積み重ねです。
とくに北稜中の役員は、朝のあいさつ、昼の放送、行事の準備や片付け…毎日のタスクが本当に多い。私はその量と質に、何度も「すごい」と驚かされました。
これは当たり前ではありません。皆さんには北稜中しか知らないから「普通」に見えるかもしれない。しかし、この密度で日々の仕事をやり切る生徒会は、おそらく大阪市内でも北稜だけでしょう。胸を張っていい成果です。

- 先週の三年生学年集会では、司会進行も前での話も三年生だけでやり切りました。
もちろん、そこには先生方の指導や打ち合わせがあります。でも、壇上に立って運営を担い、場をつくり、まとめ上げたのは皆さんです。まさに集大成でした。

- さて、ここからは“これから的一年”に向けたお願ひです。
「Do the Right Thing（正しいことをする）」。この一言に尽きます。
この言葉は、アメリカの名匠 スパイク・リー監督の映画の題名としても知られています。私自身、判断に迷う場面でいつもこの言葉に立ち返り、「それは正しいか？」と自分に問い合わせてきました。
生徒会役員は、皆の前に立つからこそ、迷う場面が増えます。人気が出る選択と、正しい選択がズレることもあります。

- 例えば、「学校にお菓子をもってきて、授業中に食べたいことにしたい」
これはみなさんどうですか？こんな公約を掲げたら、人気は出ますが、それは正しいことですか？
そんなときこそ、「Right（正しい）」を選んでください。

- それでは、今週は待ちに待った体育大会があります。皆さん、体調を崩すことなく、頑張ってくれることを願っています。